



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社  
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔野 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 生田 晴来 TEL 0776-53-9200  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,247	3.0	1,391	11.7	1,422	11.6	943	15.5
26年3月期第3四半期	6,068	11.1	1,245	43.6	1,274	44.0	816	50.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,087百万円 (11.6%) 26年3月期第3四半期 974百万円 (60.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	41.06	—
26年3月期第3四半期	35.55	—

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,295	9,042	73.5
26年3月期	11,727	8,242	70.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,042百万円 26年3月期 8,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期（予想）の期末の1株当たり配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△5.3	1,770	△12.4	1,800	△12.8	1,150	△9.8	50.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	23,000,000株	26年3月期	23,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	24,246株	26年3月期	24,204株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	22,975,792株	26年3月期3Q	22,975,834株

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)における当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6,247百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益1,391百万円(前年同期比11.7%増)、経常利益1,422百万円(前年同期比11.6%増)、四半期純利益943百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ①建築CAD事業

平成26年4月の消費増税後、住宅着工戸数は前年比約10%減と落ち込み、CADソフトウェア販売においても少なからず影響を受けました。それを見越して、上半期はいち早く既存ユーザーへの接点強化を図り、新省エネ基準施行に対応するオプション販売と次期システム「ARCHITREND ZERO」への移行サービスを包含した保守契約への切り替えを推し進め、市況の影響を最小限に留めるに至りました。住宅業界の落ち込みも一息ついた感が出た9月以降は、次期システムを徐々に露出し、引き続き保守契約の切り替え提案を推進しました。12月以降は10%消費増税先送りの影響で、平成28年の駆け込み需要に備える動きが住宅業界の設備投資を押し上げました。加えて、次期システムに対する反響も大きなものがあり、それに伴う新規販売も増加しました。

また、12月は衆議院議員選挙が行われ、報道機関向け出口調査システムの売上を計上しました。この結果、建築CAD事業の売上高は3,370百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は615百万円(前年同期比15.4%増)となりました。

## ②測量土木CAD事業

測量CADソフトウェアについては、平成26年9月末まで好調だったWindowsXPサポート終了に伴うシステムアップ需要は一旦落ち着きを見せています。7月にリリースした「BLUETREND XA 2015」は測量会社を中心に他社システムからの乗り換えが堅調に推移しました。また、現場端末「X-FIELD」は視認性、操作性の良さと、使用権販売によるイニシャルコスト軽減が評価され、導入台数は増加しました。

土木CADソフトウェアについては、土木施工業者の受注量増大により、既存ユーザーへの「EX-TREND武蔵2014」の追加ライセンス導入と保守契約が好調に推移したものの、新規導入が鈍化し、製品売上は前年対比で微減となりました。深刻な人材不足が課題となる土木分野においても、現場端末「X-FIELD」がTOPCON社製「LN-100(杭ナビ)」とのセット活用による現場での作業効率アップが評価され、土木市場への現場端末の新規導入が拡大しました。この結果、測量土木CAD事業の売上高は2,877百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は685百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、12,295百万円となり、前連結会計年度末より567百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加及び売上債権の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,452	5,223
受取手形及び売掛金	2,058	1,631
商品及び製品	30	41
仕掛品	3	8
原材料及び貯蔵品	13	13
繰延税金資産	353	168
その他	113	426
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	7,020	7,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,611	1,547
土地	1,096	1,096
その他(純額)	86	76
有形固定資産合計	2,794	2,720
無形固定資産		
のれん	10	5
その他	63	24
無形固定資産合計	73	30
投資その他の資産		
投資有価証券	1,368	1,567
繰延税金資産	54	45
その他	424	430
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	1,838	2,034
固定資産合計	4,707	4,786
資産合計	11,727	12,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51	45
未払法人税等	463	26
前受金	1,399	1,712
賞与引当金	293	135
役員賞与引当金	60	37
その他	996	996
流動負債合計	3,264	2,954
固定負債		
繰延税金負債	216	293
長期未払金	3	3
固定負債合計	220	297
負債合計	3,484	3,252
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	4,062	4,719
自己株式	△5	△5
株主資本合計	7,785	8,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	457	601
その他の包括利益累計額合計	457	601
純資産合計	8,242	9,042
負債純資産合計	11,727	12,295

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	6,068	6,247
売上原価	1,442	1,377
売上総利益	4,625	4,870
販売費及び一般管理費	3,380	3,478
営業利益	1,245	1,391
営業外収益		
受取配当金	12	18
受取手数料	7	6
その他	9	5
営業外収益合計	29	30
経常利益	1,274	1,422
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12
負ののれん発生益	13	—
特別利益合計	13	12
税金等調整前四半期純利益	1,288	1,434
法人税、住民税及び事業税	378	299
法人税等調整額	89	192
法人税等合計	468	491
少数株主損益調整前四半期純利益	819	943
少数株主利益	2	—
四半期純利益	816	943



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	819	943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	143
その他の包括利益合計	154	143
四半期包括利益	974	1,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	971	1,087
少数株主に係る四半期包括利益	2	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,271	2,796	6,068	—	6,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,271	2,796	6,068	—	6,068
セグメント利益	533	592	1,125	120	1,245

(注) 1. セグメント利益の調整額120百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,370	2,877	6,247	—	6,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,370	2,877	6,247	—	6,247
セグメント利益	615	685	1,300	91	1,391

(注) 1. セグメント利益の調整額91百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成26年4月1日に当社の事業でありました「ITソリューション事業」の各事業を「建築CAD事業」を営む子会社に事業譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「建築CAD事業」、「測量土木CAD事業」及び「ITソリューション事業」の3区分から、「建築CAD事業」及び「測量土木CAD事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。